

Rickey+ 利用マニュアル



Rickey(リッキー)は、Android スマートフォン／タブレットを Windows パソコンに無線接続し、キーボードとして利用するアプリです。

Rickey を使えば、手もとのスマホやタブレットのタッチ操作でパソコンへの入力や各種操作ができます。スマホ／タブレットと操作対象のパソコンとは Bluetooth で無線接続。一般的なオンスクリーンキーボードと異なり、ソフトキーボードが別画面に表示されるので、パソコンの画面を広く使うことができます。また、Rickey はパソコンのキーボード操作が困難な肢体不自由な方々のための機能を備えています。

<目次>

Rickey の概要／動作環境	2
Rickey の入手方法	5
パソコンとの接続手順	6
機能と操作画面	17
操作のしかた	21
ご質問・お問い合わせ先	25

Rickey の概要／動作環境

Rickey（リッキー）は、Android スマートフォン／タブレットで動作するアプリです。Rickey をインストールした Android 端末（以下「Rickey 端末」と呼びます。）に表示したソフトキーボードから、Bluetooth で無線接続した Windows パソコンへの文字入力、操作、マウスコントロールを行うことができます。つまり、Android スマホ／タブレットをパソコン用の Bluetooth キーボード／Bluetooth マウスの代わりとしてご利用いただけます。無線接続ですので、少し離れた位置からでもパソコンが操作できます。複数のパソコンをお持ちの方は、Rickey 端末がひとつあれば、接続を切り替えることによりそれぞれのパソコンに入力することができます。（同時に複数のパソコンに入力することはできません）

（Rickey の概念図）



肢体不自由者支援ソフトとしての Rickey

Rickey はもともと、パソコンのキーボード操作が困難な肢体不自由者向けの支援ソフトとして開発しました。そのため、Shift、Ctrl、Alt 等の特殊キーは指一本で操作できるロック仕様となっています。また、重度肢体不自由者のための「オートスキャン機能」を備えています。

これまでの肢体不自由者向けパソコン操作支援ソフトのほとんどは、操作するパソコンの画面にソフトキーボードを表示し入力操作するオンスクリーンキーボード方式でした。この方式では、利用したいパソコンの画面の一部がキーボード表示で隠れてしまうことが問題でした。Rickey は、パソコンとは別のタブレット画面にキーボードを表示しますので、パソコンの画面を隠すことが

なく、快適にパソコンを利用できます。

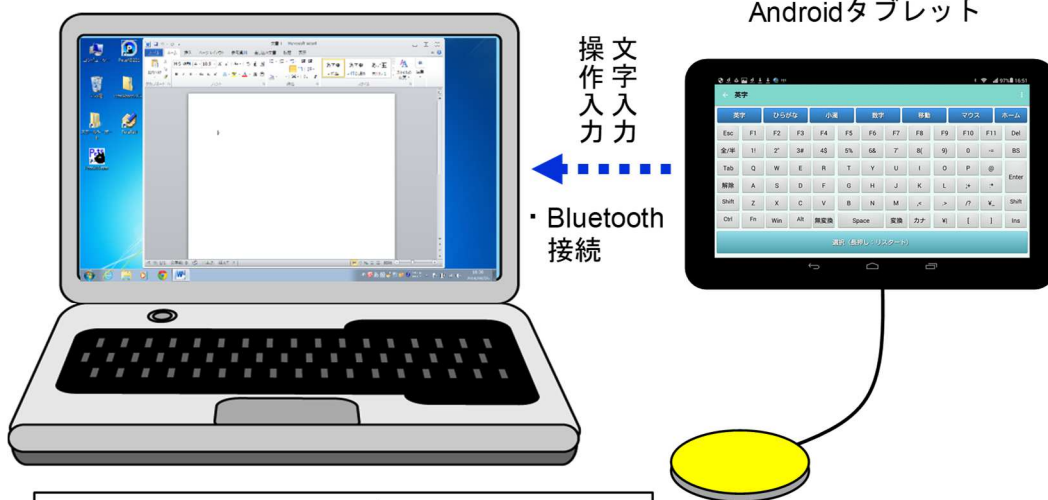
(従来方式との比較図)

従来の支援ソフトの使用イメージ (例)



- ・ PC画面にソフトキーボードを表示して操作
- ・ 作業に使える画面が狭くなる
- ・ そのPCしか操作できない

Rickeyの使用イメージ



- ・ 専用端末にソフトキーボードを表示して操作
- ・ 外部スイッチは専用端末に接続
- ・ PC画面全体を作業に利用できる
- ・ 接続を切り替えて他の機器も操作できる

Rickey を使っていただきたい方々

Rickey は次のような用途、ユーザーにおすすめします。

➤ 一般の Windows パソコンユーザーの方

- ・ Windows タブレット等のキーボード、マウス代わりとして
- ・ 離れた位置からパソコンを操作するリモコンとして
- ・ プレゼンの際などの操作インタフェースとして

➤ パソコンのキーボード利用が困難な方

- ・ 指の力が入りにくい方
- ・ 腕の可動域が狭い方
- ・ 腕は動かせないが、画面のタップはできる方
- ・ キーボード操作や画面タッチはできないが、入力スイッチ操作はできる方（別途、外部スイッチが必要です）

Rickey の動作環境

タブレット端末 OS : Android4.4 以降

画面サイズ : 5 インチ以上

※Rickey 端末の画面サイズに合わせて表示を行います。

操作対象 PC OS : Windows7、8、8.1、10

※Bluetooth を搭載していることが必要です。後付けのものでも可。

※Windows8、8.1 のモダン UI 画面も操作できます。



Rickey の入手方法

Google Play から購入

Rickey は、GooglePlay で 400 円（税込み）で販売しています。お手持ちの Android タブレットで GooglePlay にアクセスし、「Rickey+」と検索して購入してください。（最後に「+」を付けて検索していただくと、すぐに見つかります。）

※GooglePlay での購入には、Google アカウントと GooglePlay の決済登録が必要です。GooglePlay のプリペイドカードでも購入していただけます。

また、1 週間試用ができるお試し版を「Rickey+7d」として GooglePlay で提供していますので、機能確認用にご利用ください。

メールオーダー

Rickey サイトのオーダーフォームからご注文いただき、定額小為替または銀行振込で 400 円をお支払いいただいた方に、個別に Rickey をお送りします。電子メールを Android 端末で受信し、添付ファイルから Rickey をインストールすることができます。

定額小為替の郵送先： 〒162-0801 東京都新宿区山吹町 333 番地 原田ビル 5 階
イデア・フロント株式会社

銀行振込の振込先口座： 三井住友銀行 白山支店 普通 6 8 3 9 3 6 5
イデア フロント（カ

定額小為替の郵送料、振込手数料については各自ご負担ください。

RickeyTray の入手方法

Rickey で操作する WindowsPC 側にインストールする「RickeyTray」はこちらからダウンロードしてください。圧縮ファイルになっていますので、ダウンロード後、解凍してご利用ください。

<http://www.ideafront.jp/Rickey/img/sub/rickeytray023.zip>

パソコンとの接続手順

Rickey 端末は、操作対象のパソコンと Bluetooth で接続します。パソコン側には、接続ソフト「RickeyTray」をあらかじめインストールします。接続の手順は次のとおりです。

Step0 RickeyTray のパソコンへのインストール

1) Rickey で操作したいパソコンで Rickey サイトにアクセスし、以下から RickeyTray をダウンロードしてください。

<http://www.ideafront.jp/Rickey/img/sub/rickeytray023.zip>

2) ダウンロードした zip ファイルを解凍し、生成されるインストーラーを起動してください。
(ユーザーアカウントコントロールが表示される場合は「はい」をクリックしてください。)



3) セットアップウィザードが表示されたら、「次へ」をクリックしてください。



4) インストールオプションが表示されますので、デスクトップにアイコンを作成したい場合や、PC 起動時から自動起動させたい場合はそれぞれの項目をチェックし、「次へ」をクリックします。



5) 確認画面が表示されたら、「インストール」をクリックします。



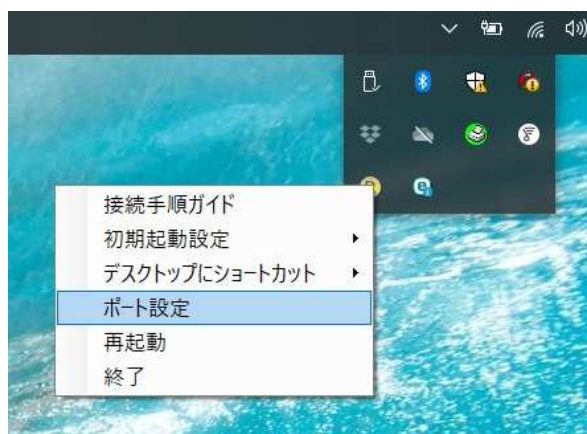
6) インストール完了画面が表示されたら、「完了」をクリックします。



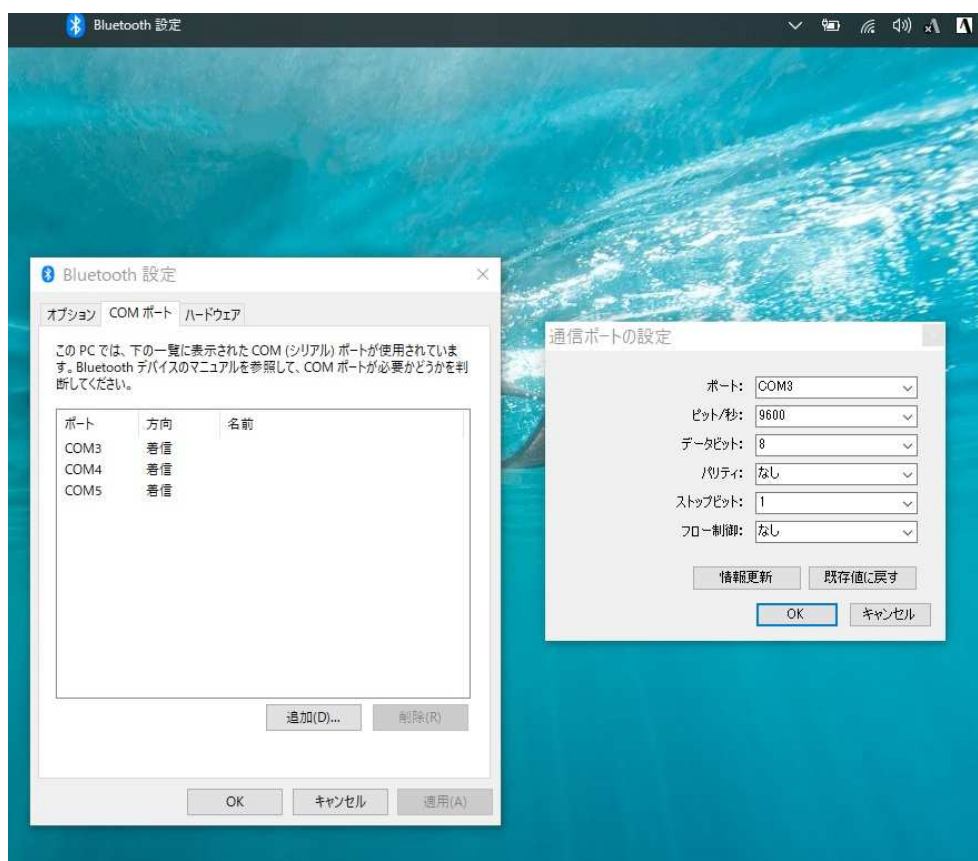
これで RickeyTray がパソコンにインストールされました。**Rickey+**を利用する時は、あらかじめパソコンの RickeyTray を起動しておいてください。(RickeyTray をスタートアップに登録しておくことをおすすめします)

Step1 パソコン側の初期設定

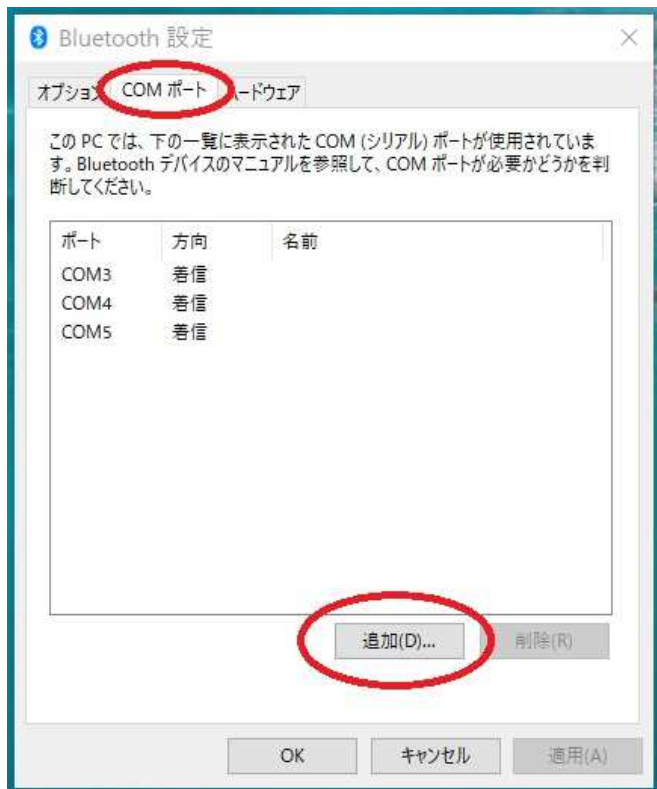
1)) タスクトレイの RickeyTray アイコンを右クリックし、表示されるメニューから「ポート設定」を選んでください。



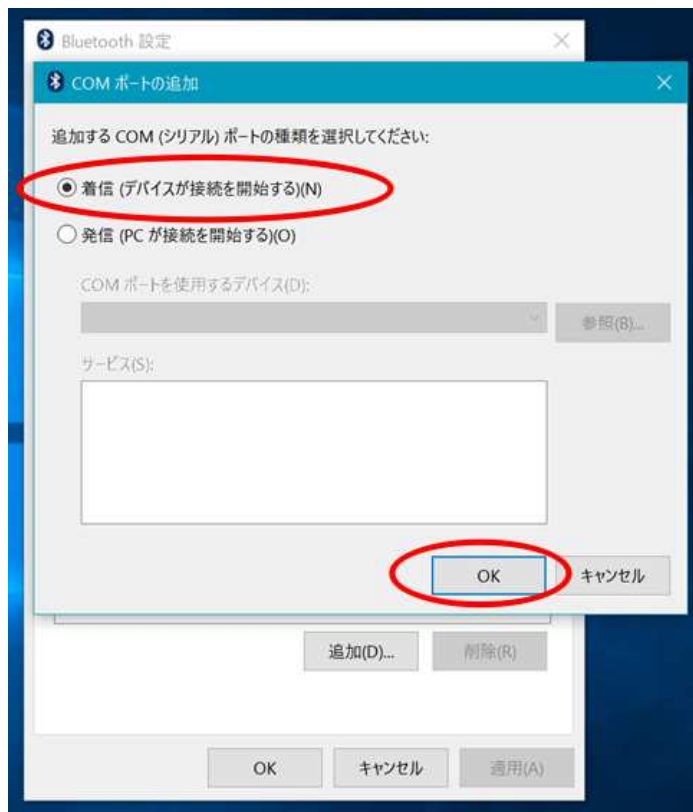
2) RickeyTray の「通信ポートの設定」画面と Windows の「Bluetooth 設定」画面が同時に開きます。



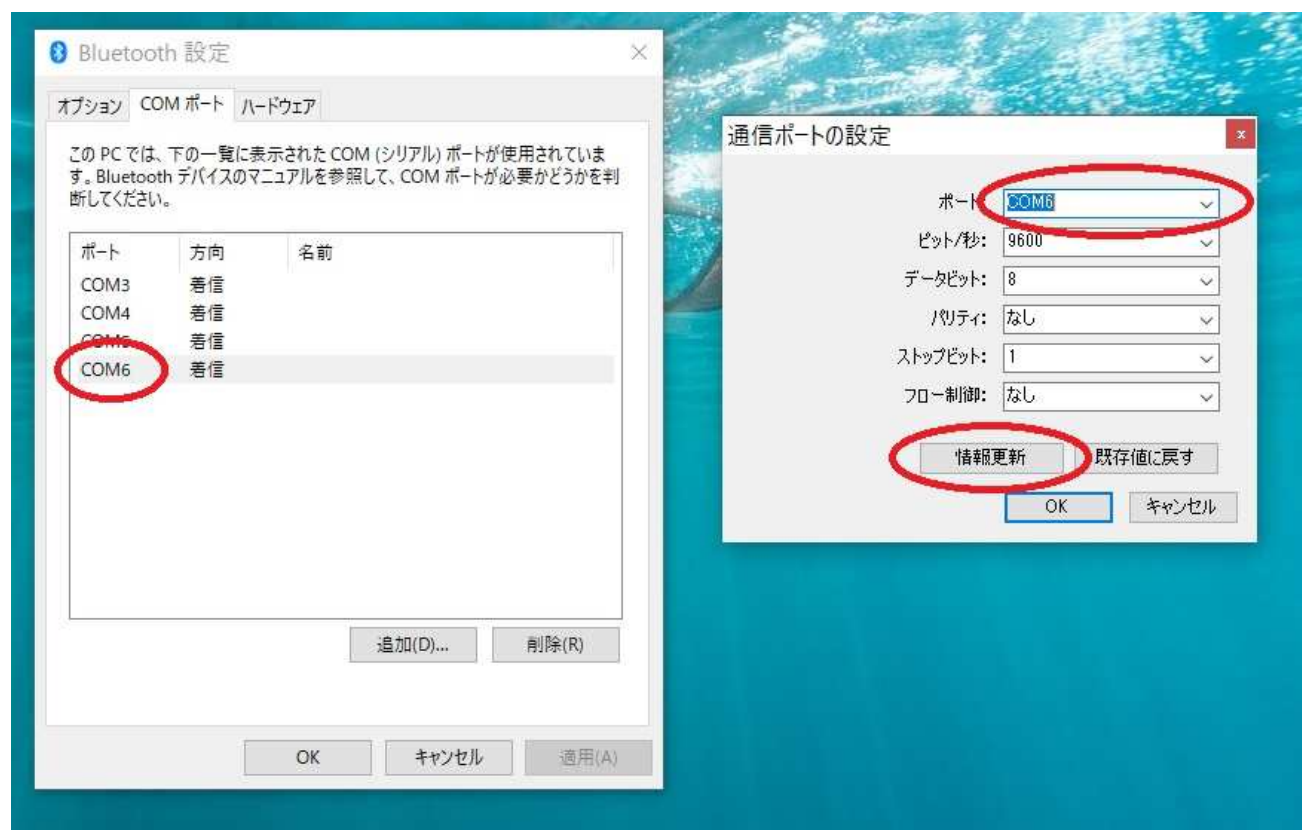
3) Bluetooth 設定画面の上部タブで「COM ポート」を選択し、画面下部にある「追加」ボタンをクリックしてください。



4) 追加するポートの種類を指定する画面が表示されますので「着信」を選び、「OK」をクリックしてください。



5) 追加されたポート番号を確認した後、「ポートの設定」ウィンドウにある「ポート」欄で、追加されたポート番号と同じものを選んでください。プルダウンの中に追加したポート番号が見当たらない場合は、画面下部にある「情報更新」ボタンをクリックしてからやり直してみてください。



6) 開いている2つのウィンドウの「OK」ボタンをクリックしてウィンドウを閉じてください。

以上で初期設定は終了です。

Step2 Bluetooth 接続

※Bluetooth 接続の手順や表示画面は、ご利用の機材によって異なる場合があります。詳しくはご利用の機材のマニュアル等をご覧ください。

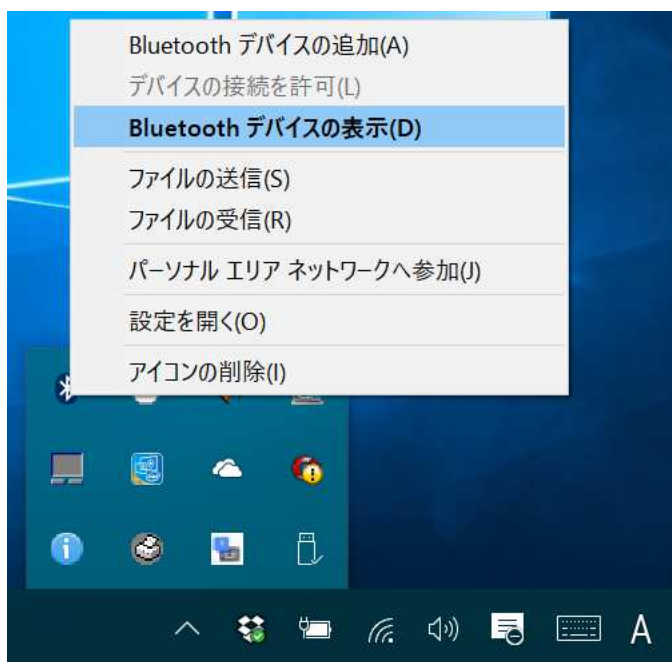
1) Android タブレットの「設定」をタップし、「Bluetooth」を選んでください。

2) Bluetooth が OFF になっている場合は ON にしてください。

3) 表示状態が「ペア設定されたデバイスにのみ表示」となっている場合は、そこをクリックして「周辺のすべてのBluetoothデバイスに表示」にしてください。



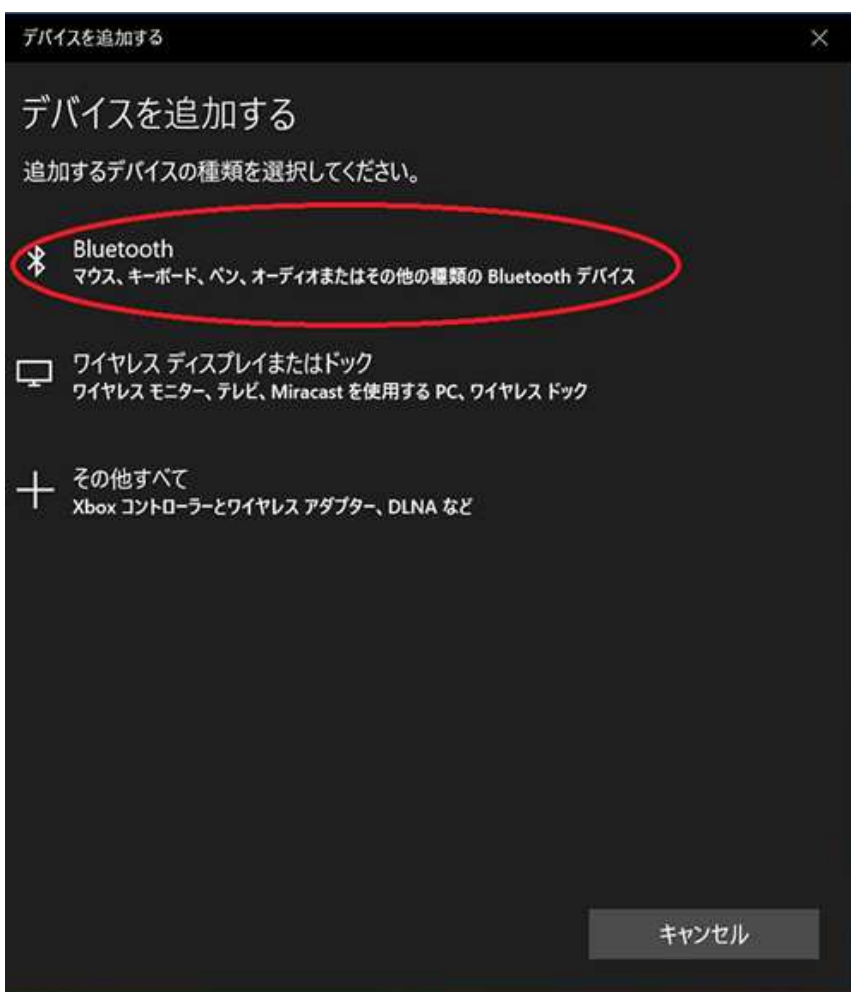
4) 次にパソコンのタスクトレイの Bluetooth アイコンをクリックし、「Bluetooth デバイスの表示」を選んでください。



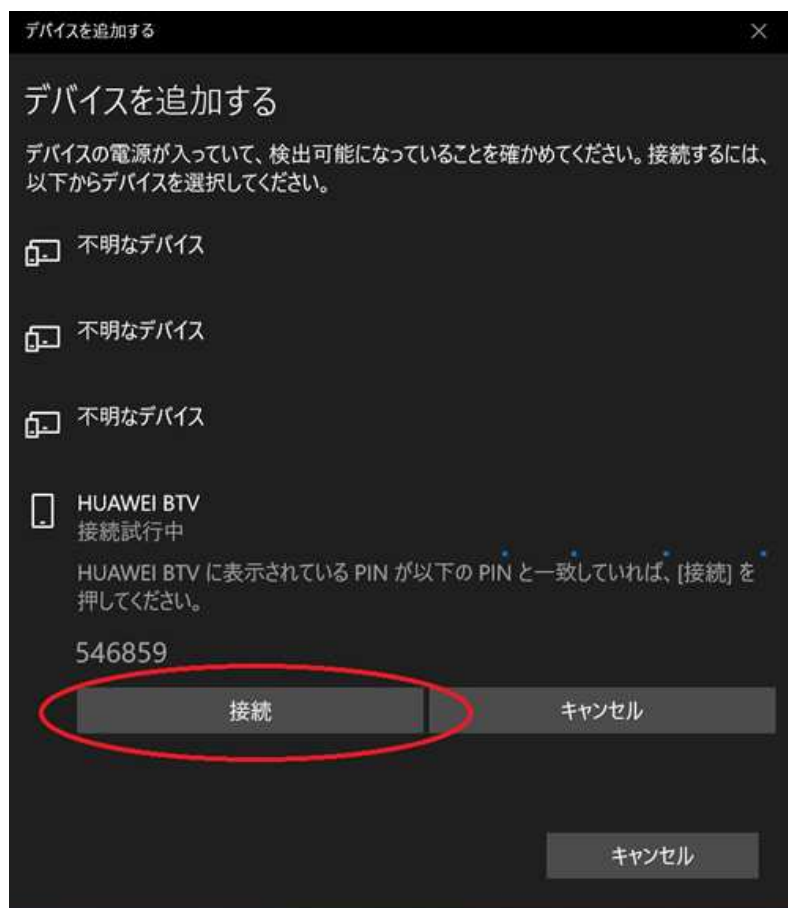
5) 表示される画面で「Bluetooth またはその他のデバイスの追加」をクリックしてください。



6) 表示される「デバイスを追加する」画面で、「Bluetooth」をクリックしてください。



7) 表示される機材リストの中から、Rickey を入れたスマホ／タブレットを選択してください。
すると、パソコンとタブレットの両方にパスコードが表示されますので、それぞれ「接続」「ペア設定する」を選んでください。（必ず先にパソコン側から操作するようにしてください）



8) パソコン側に以下のメッセージが表示されたら、接続完了です。



Step3 Rickey の接続先選択

1) 操作したいパソコンで、RickeyTray が起動していることを確認してください。（パソコンのタスクトレイに、黄色い RickeyTray アイコンが表示されていることを確認してください。もし見当たらない場合は、RickeyTray を起動してください。）



2) タブレットの Rickey アイコンをタップして、Rickey を起動してください。

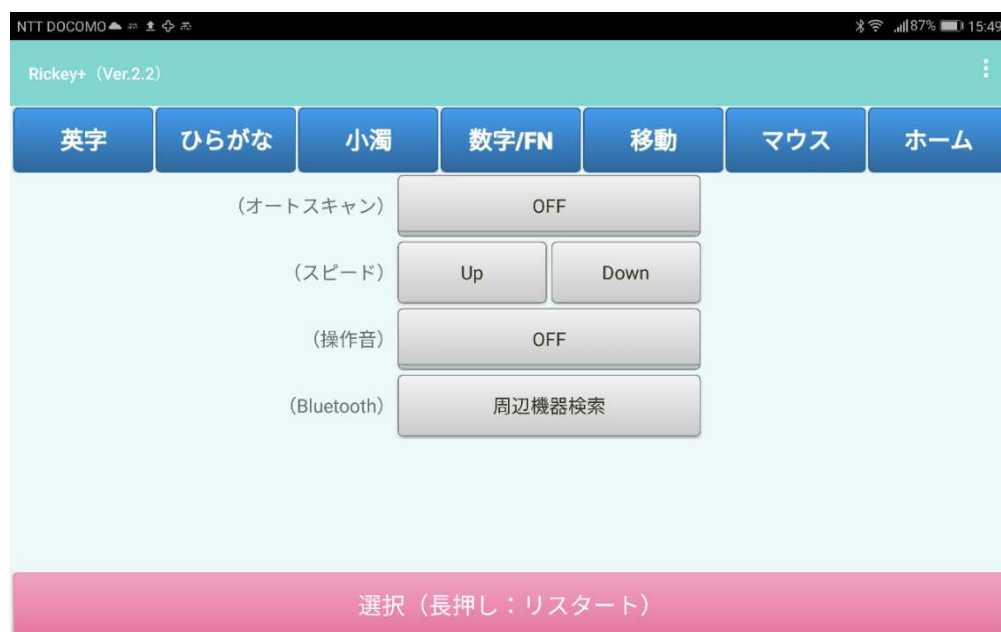
3) 「ホーム」タブをタップして、ホーム画面を表示してください。



4) 「周辺機器選択」をタップし、表示されるリストから、操作したいパソコンの名前を選んでください。



5) Rickey 画面下部のバーの色がピンクで表示されたら、パソコンとの接続は完了です。これで、Rickey からパソコンの操作・入力ができるようになりました。



※一度接続し「ペアリング済み」になったパソコンとは、「Step3 Rickey の接続先選択」の手順だけで再接続できます。（パソコン、スマホ／タブレットの Bluetooth は、常時 ON にしておいてください）

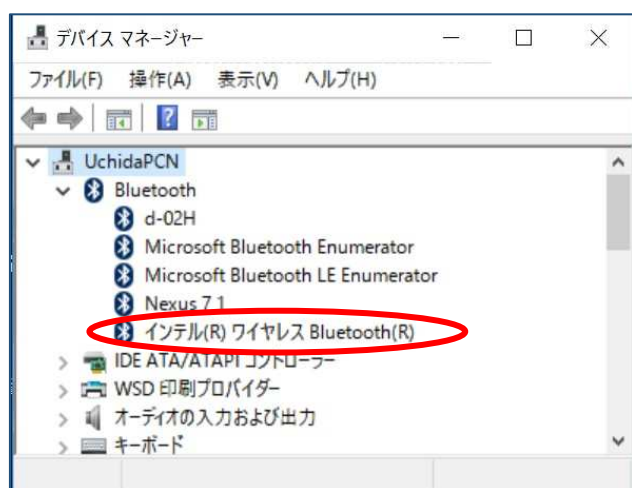
※他の Bluetooth 機器との干渉等によって接続がうまくできなくなることがあります。その場合は、お手数ですが Rickey、RickeyTray をいったん終了し、ポート設定からやり直してください。

パソコンとの接続が頻繁に切れる時は

ノートパソコン等では、省電力のためにブルートゥースアダプタを自動的にオフにする設定になっていることがあります。このため、Rickey を接続しても、頻繁に接続が切れてしまう場合があります。

こうした症状が見られる時は、次の設定を変更してみてください。

- 1) コントロールパネルから「デバイスマネージャー」を選択します。
- 2) 表示されるデバイスリストから、「Bluetooth – ワイヤレス Bluetooth」をダブルクリックします。（項目名が少し異なる場合がありますのでご注意ください）



- 3) 表示される画面の「電源の管理」タブをクリックします。
- 4) 「電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする」のチェックを外し、「OK」をクリックします。



機能と操作画面

Rickey でどのような操作ができるのかをご紹介します。

① 日本語入力（ひらがな入力）

50 音キーボード画面を使って、日本語を入力することができます。漢字変換は Windows の IME を利用します。



② アルファベット／ローマ字入力

QWERT 配列の英字キーボード画面を使って、英語の入力が行えます。また、Windows の IME を使い日本語のローマ字入力もできます。



③ パソコンの操作（ショートカットキーによる操作）

英字キーボード画面の **Ctrl**、**Alt** キー等を使って、**Windows** のメニュー操作を行えます。

Ctrl、**Alt** 等のキーは選択時にロックされる仕様なので、片手操作で使うことができます。選択ロック状態の時は、各キーの下辺が緑色になります。同じキーをもう一度タップするとロックが解除されます。

※操作手順が通常のキーボードと若干異なりますのでご注意ください。

例：ウィンドウを閉じる操作は「**Alt**」＋「**Space**」＋「解除」＋「**c**」となります。

また、薄青色のキーは、長押しするとロックされ、そのキーが繰り返し入力されます。同じキーを再度タップするとロックが解除されます。

④ カーソルの移動

パソコン操作中のカーソルやフォーカスの移動は、50 音キーボード、英字キーボード画面にもキーがありますが、別に移動操作専用の画面を用意しています。方向キーと **Shift** キーと組み合わせて範囲選択もできます。「↑↑」、「↓↓」キーは一度に 5 行移動するキーで、上下に素早く移動する時に利用します。



⑤ マウスポインタの操作

専用のマウス操作画面で、マウスポインタの移動やクリック、ドラッグ操作などが行えます。マウス画面にある方向キーまたはマウスパッドエリアを使ってポインタ操作を行います。



マウスパッドでの操作

※マウスパッドエリアの中で指をスライドさせるとマウスポインタが連動して動きます。タップでマウスクリック、ダブルタップでダブルクリック操作が行えます。

※マウスパッドエリアの右縁で指を上下にスライドさせると上下スクロール操作、下縁で指を左右にスライドさせると左右スクロール操作ができます。

※ドラッグ操作を行うには、「ドラッグ」ボタンをタップしてから方向キーまたはマウスパッド操作を行います。

方向キーでの操作

※画面左側の方向キーをタップすると、8 方向にマウスポインタを移動させることができます。

オートスキャンで利用される方は、これらのキーを使ってパソコンのマウス操作を行うことができます。

※Ctrl をタップした後に移動キーを選択すると、マウスポインタは大きく移動します。

※Shift をタップした後に移動キーを選択すると、マウスポインタは小さく移動します。

⑥ テンキーとファンクションキー

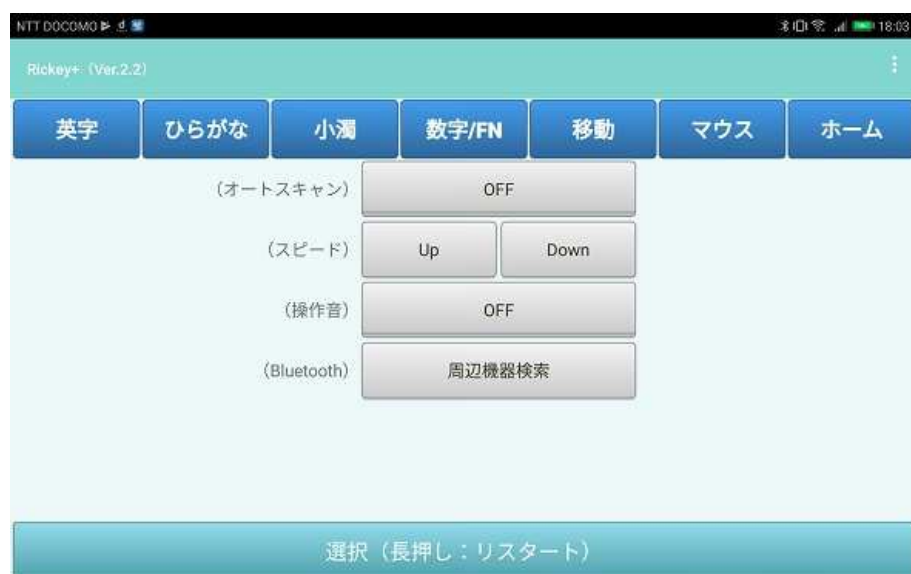
数字キーは英字キーボードにもありますが、別にテンキー画面（「数字/FN」画面）がありますので、適宜切り替えてご利用ください。

この画面に、PC用のファンクションキー（F1～F12）もあります。なお、使用頻度が高いと思われるファンクションキーは、英字キーボードにも配置しています。



⑦ Rickey の設定変更

「ホーム」画面では、接続するパソコンの選択のほか、Rickey の操作音の ON/OFF、オートスキャンの ON/OFF、オートスキャンの速度調整、オートスキャンで使う操作信号の選択といった各種設定変更を行えます。



操作のしかた

Rickey は画面タッチ、マウスまたはオートスキャンで利用することができます。

①画面タッチでの利用

スマートフォン／タブレットの画面に表示した Rickey のキーを直接タッチして操作します。パソコンのキーボードとほぼ同様の手順で、スピーディーな入力ができます。



②マウス、トラックボールでの利用

画面タッチは難しいがマウスやトラックボールの操作が可能な方は、Rickey 端末にこれらを接続し、マウスポインタを使って Rickey を利用することができます。



③テンキー、方向キーでの利用

Rickey を入れたスマホ／タブレットに外付けキーボードやテンキーを接続し、方向キー（テンキーの場合は NumLock 解除して利用）を使って Rickey のキーを選択することができます。

※Android スマホ／タブレットで利用可能な外付けキーボード、テンキーをご利用ください。



外付けテンキーでの操作方法

Rickey 端末に接続したテンキーを NumLock 解除し、最初に「8」キーを押すと、画面下部にオレンジ色のカーソルが表示されます。その後は、以下のキーでカーソルが移動します。

4：カーソルが左に動く

8：カーソルが上に動く

6：カーソルが右に動く

2：カーソルが下に動く

選択したい Rickey のキーの場所までカーソルを移動させ、テンキーの「Enter」を押すと、カーソルがあるキーが選択されます。

③オートスキャンでの利用

ホーム画面のオートスキャンボタンを ON にするとオートスキャンが始まります。キーボードの部分の色が順番に変わっていきますので、操作したいキーの周辺の色が変わっている時に画面下にある「選択」エリアにタッチすると色が変わっている部分が選択されます。これを「領域選択」「行選択」「キー選択」と3回繰り返すことで、1つのキーが選択できます。画面のあちこちをタッチするのが難しい方は、この方式でタッチする場所を限定して操作することができます。



※左の写真は

領域選択・・・グレーの領域
行選択・・・緑の行
キー選択・・・橙色のキー
を順に選択し、「こ」を
選択したところ。

※オートスキャンは、Rickey と操作対象パソコンが接続できている時のみ有効になります。

※オートスキャンが動いている時も、画面タッチによるキー選択ができます。

※オートスキャン操作で薄青色のキーを選択すると、自動的にロック状態となり、そのキーが繰り返し入力されます。もう一度選択操作をすると、ロックが解除されます。

※マウス操作画面にあるマウスパッド部分は、オートスキャンの対象になりません。マウスポインタの移動は、マウス操作画面にある方向キーを使って行ってください。

※「選択」バーを長押しするとスキャンがキャンセルされ、表示している画面の初期状態（領域スキャン）に戻ります。ゾーンや行を間違えて選んでしまった場合などにご利用ください。また、同じ箇所のスキャンを3回行う間にどのキーも選択しなかった時も、同様にスキャンがキャンセルされ、その画面の領域キャンに戻ります。

④オートスキャンでの利用（外部スイッチ入力）

Rickey 端末に「できマウス 3Ai。」や「できマウス S2。」と各種の外部スイッチを接続すると、スイッチ操作でオートスキャンの選択操作ができます。画面タッチでの利用が難しい方は、手元に置いた外部スイッチを使って操作することができます。



※「できマウス。」シリーズは、埼玉県坂戸市の町田健治さんが開発・販売されている、各種スイッチの接続装置です。詳しくは、<https://dekimouse.org/wp/> をご覧ください。

※ Rickey+はゲームパッドの「ボタン A」信号をキー選択信号にしています。「できマウス。」シリーズを「ゲームパッドモード」にして Rickey 端末につないでいただくと、外部スイッチ入力を Rickey+が受け付けるようになります。

オートスキャン関係の設定について

「ホーム」画面で、オートスキャンに関するいくつかの設定ができます。

(オートスキャン) オートスキャンの ON/OFF を切り替えます。初期値は「OFF」になっています。このキーは、オートスキャンの対象になりません。

(スピード) オートスキャンの速度の Up/Down を行います。

(操作音) スキャンに合わせてタイミング音を出す／出さないの切り替えを行います。初期値は「OFF」になっています。

ご質問・お問い合わせ先

Rickey に関するご質問、お問い合わせは以下までお願いいたします。

アイデア・フロント株式会社

東京都新宿区山吹町 333 番地 原田ビル 5 階 （担当：内田）

電話／FAX 03-6280-8014

e-mail at_dp@ideafront.jp

Rickey サイトにはお問い合わせ用フォームがあります。こちらをご利用ください。

https://www.ideafront.jp/Rickey/form_contact/index.html